No.１

<２０１２―２０１３年度>

第１回

キャビネット会議

資　料　集

【１】

２０１２年７月２３日（月）

東京プリンスホテル　２階「プロビデンス」

ライオンズクラブ国際協会
３３０－Ａ地区

2012～2013年度　リジョン・チェアパーソン名簿

R		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
１Ｒ	※	高橋 芳子	タカハシ ヨシコ	東京みやこ
２Ｒ		和田 昇三	ワダ ショウゾウ	東京堀留
３Ｒ	※	橘 薫	タチバナ カオル	東京麹町
４Ｒ		上野 滋朗	ウエノ ジロウ	東京法政
５Ｒ		石田 健	イシダ ケン	東京江戸川東
６Ｒ		北條 章宏	ホウジョウ アキヒロ	東京上野
７Ｒ		内田 照男	ウチダ テルオ	東京志村
８Ｒ	※	奥山 慎	オクヤマ シン	東京駒込
９Ｒ		西村 茂行	ニシムラ シゲユキ	東京目黒
１０Ｒ	※	中江 勁	ナカエ ケイ	東京代々木
１１Ｒ		山岡 祥宏	ヤマオカ ヨシヒロ	東京新都心
１２Ｒ		中山 道則	ナカヤマ ミチノリ	東京町田クレイン
１３Ｒ		大塚 鉞一	オオツカ エツカズ	東京小平
１４Ｒ		吉岡 忠	ヨシオカ タダシ	東京瑞穂

2012～2013年度　ゾーン・チェアパーソン名簿

R-Z		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
１Ｒ-１Ｚ		芳澤 幸男	ヨシザワ ユキオ	東京千代田
１Ｒ-２Ｚ		奥田 正夫	オクダ マサオ	東京番町
１Ｒ-３Ｚ	※	鈴木 令子	スズキ レイコ	東京蒼天
２Ｒ-１Ｚ		草川 重良	クサカワ シゲヨシ	東京京橋
２Ｒ-２Ｚ	※	木下 満	キノシタ ミツル	東京銀座
３Ｒ-１Ｚ		三宅 泰雄	ミヤケ ヤスオ	東京浜松町
３Ｒ-２Ｚ		李 完植	リ カンショク	東京王仁
３Ｒ-３Ｚ	※	田中 隆三	タナカ リュウゾウ	東京赤坂
４Ｒ-１Ｚ		和知 鋭二郎	ワチ エイジロウ	東京センチュリー
４Ｒ-２Ｚ		藤井 良一	フジイ リョウイチ	東京江東南
４Ｒ-３Ｚ		溝渕 利幸	ミゾブチ トシユキ	東京白門
５Ｒ-１Ｚ		赤池 元夫	アカイケ モトオ	東京亀有
５Ｒ-２Ｚ	※	桐井 義則	キリイ ヨシノリ	東京江戸川東
５Ｒ-３Ｚ		橋本 初雄	ハシモト ハツオ	東京足立中央
６Ｒ-１Ｚ		飯間 秀男	イイマ ヒデオ	東京浅草
６Ｒ-２Ｚ	※	藁谷 和家	ワラガヤ カズイエ	東京鶯谷
７Ｒ-１Ｚ		小島 正義	コジマ マサヨシ	東京荒川西
７Ｒ-２Ｚ		浦野 久雄	ウラノ ヒサオ	東京板橋西
７Ｒ-３Ｚ		泉田 恒夫	イズミダ ツネオ	東京練馬西
８Ｒ-１Ｚ		伊東 亨	イトウ トオル	東京豊島
８Ｒ-２Ｚ		野口 正二郎	ノグチ ショウジロウ	東京文京
９Ｒ-１Ｚ		西野 実	ニシノ ミノル	東京蒲田
９Ｒ-２Ｚ		林田 喜久子	ハヤシダ キクコ	東京GAIA
１０Ｒ-１Ｚ		青木 秀壽	アオキ ヒデトシ	東京渋谷
１０Ｒ-２Ｚ		進藤 義夫	シンドウ ヨシオ	東京世田谷
１０Ｒ-３Ｚ	※	中村 善子	ナカムラ ヨシコ	東京成城
１１Ｒ-１Ｚ		逸見 正樹	ヘンミ マサキ	東京新都心
１１Ｒ-２Ｚ		内藤 千秋	ナイトウ チアキ	東京高井戸
１１Ｒ-３Ｚ		永井 聡	ナガイ サトシ	東京新宿御苑
１２Ｒ-１Ｚ		宮澤 千昭	ミヤザワ チアキ	東京調布
１２Ｒ-２Ｚ		吉松 欽也	ヨシマツ キンヤ	東京町田
１３Ｒ-１Ｚ		遠山 俊男	トオヤマ トシオ	東京横田
１３Ｒ-２Ｚ	※	菊池 清一	キクチ セイイチ	東京西東京
１４Ｒ-１Ｚ		大津 邦芳	オオツ クニヨシ	東京八王子中央
１４Ｒ-２Ｚ		野崎 進	ノザキ ススム	東京秋川

※印は世話人です

２０１２～２０１３年度
ライオンズクラブ国際協会　公認プロトコール

1. 国際会長
2. 前国際会長
3. 国際副会長（地位の順）
4. 国際理事（国際理事会アポインティ）
5. 元国際会長
6. 元国際理事
7. 複合地区協議会議長
8. 地区ガバナー
9. 国際協会国際本部長
10. 国際協会幹事
11. 国際協会会計
12. 元協議会議長
13. 前地区ガバナー
14. 第１副地区ガバナー
15. 第２副地区ガバナー
16. 元地区ガバナー
17. 複合地区協議会幹事
18. 複合地区協議会会計
19. キャビネット幹事
20. キャビネット会計
    複合地区委員長・複合地区監査委員・
    複合地区副委員長・複合地区委員
21. リジョン・チェアパーソン
22. ゾーン・チェアパーソン
23. 地区委員長及びコーディネーター・GMT/GLT メンバー・
    地区監査委員・地区キャビネット副幹事・
    地区副委員長・地区委員
24. クラブ会長
25. 前クラブ会長
26. クラブ副会長
    クラブ幹事
27. クラブ会計
28. 元クラブ会長
29. 複合地区事務局長
30. 複合地区事務員

［注］２０１１年１０月香港国際理事会で改訂されたプロトコール

２０１２～２０１３年度　３３０－Ａ地区レベルにおける
地区年次大会、周年行事、チャーターナイト、公式訪問等のプロトコール

1. 地区ガバナー
2. 国際理事
3. 元国際理事
4. ＬＣＩＦ国際委員・エリアコーディネーター（東日本担当）
5. 複合地区ガバナー協議会議長
6. 国際協会モンゴル・コーディネーター
7. 前地区ガバナー・名誉顧問会議長
8. 第１副地区ガバナー
9. 第２副地区ガバナー
10. 元地区ガバナー
11. キャビネット幹事
12. キャビネット会計
13. 複合地区役員
14. 地区ＧＭＴコーディネーター
15. 地区ＧＬＴコーディネーター
16. リジョン・チェアパーソン
17. ゾーン・チェアパーソン
18. 地区委員会委員長・会計監査
19. キャビネット事務局長
20. キャビネット副幹事
21. キャビネット副会計
22. 地区委員会副委員長・委員

委員会はクラブ並びにメンバーのための活動並びに情報源である。キャビネットからクラブへの発信、またクラブからの要望を RC・ZC が報告し、それに対して委員会がクラブ等へ対応をする。

委員会は他の委員会と連携し、それぞれの関連性を活かし相乗効果を発揮するよう活動する。そしてチームワークを！

リジョンチェアパーソンは委員会の監督を補佐する役割としてキャビネットと委員会の連絡調整役を担う。

ＧＭＴコーディネーター

会員増強（女性会員）・クラブサクセス（クラブ活性化・会員維持・退会防止）ＥＸ・家族会員カード推進の４つ束ね、コーディネートする。　第一副地区が担当し、ＲＣ・ＺＣと共に活動する。

ＧＬＴコーディネーター

会則・会員と指導力と青年アカデミー（若手育成）の３つを束ねコーディネートする。　第二副地区が担当し、RC・ZC と共に活動する。

１．　政策・中長期計画委員会　　委員長　橋本光祥（豊新）８Ｒ１Ｚ

① 当該年度の問題点を洗い直す
② １年でできないことを中長期に計画
③ 時代に沿った改善と提言（少人数クラブ・選挙について等）
④ アワード規定の見直し

＜ＧＭＴ担当２から５＞

２．　会員増強委員会　　委員長　岩城正明（千代田）１Ｒ１Ｚ

① 女性会員増強を担当
② 今期会員増強シートの活用
③ 目標設定並びに年間計画
④ クラブへの会員増強支援

３．クラブサクセス委員会　　委員長　佐々木洋文（中野）１１Ｒ２Ｚ

会員維持にはクラブ活性化が重要である。

① １クラブ２０人以上にするためのクラブ再生の提案
② 活性化のためのクラブ運営や奉仕活動等の情報提供
③ 退会防止・会員維持の情報提供並びに今期マニュアルの活用
④ 弱体化クラブへの支援

４．エクステンション委員会　　委員長　杉村　基（キング）１１Ｒ１Ｚ

① 新クラブ結成計画並びにチーム作り
② ＲＣ・ＺＣからの情報把握並びに結成依頼
③ 各クラブへの取り組み方法のＰＲ　　趣味の集まり等
④ クラブ支部の周知並びに設立

５．家族会員・ライオンズカード推進委員会　　委員長　小川晶子（ウィル）７Ｒ３Ｚ

① 家族会員プログラム周知並びに家族会員増強

② ライオンズカードカード活用推進（会員維持・増強へのツールにも）

③ 各クラブへ取り組み方法の検討

＜ＧＬＴ担当６から８＞

６．会則・会員・組織連携委員会　　委員長　浅野憲一（青山）３Ｒ３Ｚ

① 会則の見直し検討

② 選挙規定の見直し検討

③ 支援会の内容把握並びに連携対応

④ 会員セミナー等の開催

７．指導力育成委員会　　委員長　木島庄市（城東）　４Ｒ２Ｚ

① ﾒﾝﾊﾞｰ・三役並びに構成員等に対し役割と原則の認識並びに指導力育成

② 指導力のレベル向上のセミナー　　リーダーシップ研究会

③ クラブ向上プロセスワークショップの開催・メンタープログラム

④ セミナー等の方法の検討

８．青年アカデミー委員会　　委員長　戸部研一（数寄屋橋）２Ｒ２Ｚ

① 若手メンバーの参加意識の向上

② 将来のリーダー育成

③ 若手へのフォロー（リテンション）

④ セミナー等の開催、若手フォーラム（全体・リジョン・ゾーン）

９．広報委員会　　委員長　柴田　誠（新都心）１１Ｒ１Ｚ

① 地区内クラブに役立つ地区ニュースの検討

② 地区ニュースの有効的な活用により対外的なライオンズのＰＲ

③ ＨＰへの企業協賛（メンバー外）の検討

④ ライオンズを周知する対外 PR の検討

１０．ＩＴ合理化・事務局緊急対応委員会　　委員長　向井忠義（三鷹）１２Ｒ１Ｚ

① 事務局・クラブのＩＴ化促進

② サバンナの活用セミナー

③ 各種会議のＩＴ化

④ 事務局・クラブの災害時の緊急対応システム検討

１１．青少年・ﾚｵ・ﾗｲｵﾝｽﾞｸｴｽﾄ委員会　　委員長　蓮沼建治（江戸川南）５Ｒ２Ｚ

① 各クラブの青少年健全育成事業の支援並びに連携

② ライオンズクエストの周知

③ レオの指導

１２．薬物乱用防止委員会　　委員長　柳谷隆（渋谷）１０Ｒ１Ｚ

①　実務講師育成　　講師の育成

新規取得者・更新者で講師未経験者への模擬体験

ゴールド取得者のスキルアップ

②　認定講習会の開催

③　薬物乱用防止教室の開催支援

④　薬物乱用防止啓蒙並びに対外ＰＲ

１３．ＹＥ委員会　　委員長　青木秀茂（吉祥寺）１２Ｒ１Ｚ

①　従来の問題点の検証

②　新しいＹＥの有り方の検討

③　各クラブへのＹＥ活動の周知

１４．ＬＣＩＦ委員会　　委員長　小堀光由（芝）３Ｒ１Ｚ

①　ＬＣＩＦ交付金の周知並びに申請方法

②　ＬＣＩＦ活動の周知（人道奉仕活動に対する認識と理解）

③　ＬＣＩＦの献金の奨励

１５．国際協調委員会　　委員長　今井文彦（巣鴨）８Ｒ２Ｚ

①　海外姉妹クラブ支援

②　モンゴル友好支援

③　国際協会関係対応、情報提供

１６．献眼・献腎・臓器移植委員会　　委員長　大島一夫（上野）６Ｒ２Ｚ

①　献眼登録の普及

②　サポーター養成

③　臓器移植提供者の普及

④　視覚障害者・盲導犬育成支援

１７．献血・骨髄移植委員会　　委員長　島田益吉（さぎそう）１０Ｒ３Ｚ

①　献血啓蒙活動の支援

②　ドナー登録の推進

１８．社会福祉・障がい者支援委員会　　委員長　野々晴久（玉川）１０Ｒ３Ｚ

（障害者・難病等・高齢者含む）

①　障害者支援への取り組み

②　東京都障がい者スポーツ大会への支援、パラリンピック等への支援

③　高齢者福祉への支援方法の検討

１９．環境保全委員会　　委員長　森本憲治（八王子高尾）１４Ｒ１Ｚ

①　環境憲章の周知

②　植樹の継続実施

③　手軽にできる環境対策の検討

２０．緊急アラート委員会　　委員長　宮本（荒川西）７Ｒ１Ｚ

①　緊急対策支援活動の方法の検討

②　災害時の対応方法の検討

③　クラブ・地区・全日本との連携

２１．国際大会参加委員会　　委員長　下川浩（大森）９Ｒ１Ｚ

①　大会参加の務めの周知並びに参加促進

②　大会内容の広報

③　国際第２副会長立候補支援

２２．オリンピック・パラリンピック招致支援委員会　委員長池田和司（桜門）４Ｒ３Ｚ

①　地域社会への認識度アップ

②　青少年健全育成並びに障がい者福祉支援

③　行政と地域との連携

２３．第５９回年次大会員会　　委員長　山浦晟暉（新宿）１１Ｒ１Ｚ

①　大会運営の内容検討

②　実施要項の作成

２４．法人化検討推進委員会　　委員長　杉山南見夫（青梅）１４Ｒ２Ｚ

①　法人化の具体的検討推進

②　クラブ並びにメンバーへの周知

2012～2013年度　各委員会　委員長名簿

委員会名		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
政策・中長期計画委員会		橋本 光祥	ハシモト ミツヨシ	東京豊新
会員増強委員会	※	岩城 正明	イワキ マサアキ	東京千代田
クラブサクセス委員会		佐々木 洋文	ササキ ヒロブミ	東京中野
エクステンション委員会		杉村 基	スギムラ モトイ	東京キング
家族会員・ライオンズカード推進委員会		小川 晶子	オガワ アキコ	東京ウィル
会則・会員・組織連携委員会		浅野 憲一	アサノ ケンイチ	東京青山
指導力育成委員会		木島 庄市	キジマ ショウイチ	東京城東
青年アカデミー委員会	※	戸部 研一	トベ ケンイチ	東京数寄屋橋
広報委員会		柴田 誠	シバタ マコト	東京新都心
ＩＴ合理化・事務局緊急対応委員会		向井 忠義	ムカイ タダヨシ	東京三鷹
青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会	※	蓮沼 建治	ハスヌマ ケンジ	東京江戸川南
薬物乱用防止委員会		柳屋 隆	ヤナギヤ タカシ	東京渋谷
ＹＥ委員会		青木 秀茂	アオキ ヒデシゲ	東京吉祥寺
ＬＣＩＦ委員会		小堀 光由	コボリ ミツヨシ	東京芝
国際協調委員会		今井 文彦	イマイ フミヒコ	東京巣鴨
献眼・献腎・臓器移植委員会		大島 一夫	オオシマ カズオ	東京上野
献血・骨髄移植委員会	※	島田 益吉	シマダ マスキチ	東京さぎそう
社会福祉・障がい者支援委員会		野々 晴久	ノノ ハルヒサ	東京玉川
環境保全委員会		森本 憲治	モリモト ケンジ	東京八王子高尾
緊急アラート委員会	※	宮本 慶文	ミヤモト ヨシユキ	東京荒川西
国際大会参加委員会		下川 浩	シモカワ ヒロシ	東京大森
オリンピック・パラリンピック招致支援委員会		池田 和司	イケダ コウジ	東京桜門
第５９回年次大会委員会		山浦 晟暉	ヤマウラ セイキ	東京新宿
法人化検討推進委員会	※	杉山 南見夫	スギヤマ ナミオ	東京青梅

※印は世話人です

リジョン・チェアパーソン世話人

2012.7.17

リジョン	氏名	クラブ名
1R	L高橋　芳子	東京みやこ
3R	L橘　薫	東京麹町
8R	L奥山　慎	東京駒込
10R	L中江　勁	東京代々木

ゾーン・チェアパーソン世話人

リジョン・ゾーン	氏名	クラブ名
1R3Z	L鈴木　令子	東京蒼天
2R2Z	L木下　満	東京銀座
3R3Z	L田中　隆三	東京赤坂
5R2Z	L桐井　義則	東京江戸川東
6R2Z	L藁谷　和家	東京鶯谷
10R3Z	L中村　善子	東京成城
13R2Z	L菊池　清一	東京西東京

委員会世話人

委員会名	氏名	クラブ名
会員増強委員会	L岩城　正明	東京千代田
青年アカデミー委員会	L戸部　研一	東京数寄屋橋
青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会	L蓮沼　建治	東京江戸川南
献血・骨髄移植委員会	L島田　益吉	東京さぎそう
緊急アラ―ト委員会	L宮本　慶文	東京荒川西
法人化検討推進委員会	L杉山　南見夫	東京青梅

担当委員会一覧表

リジョン	氏名	クラブ名	担当委員会名
幹事	L藤井　清一	東京桜門	政策・中長期計画委員会
GMT	L日下　勲	東京成城	会員増強委員会
GMT	L日下　勲	東京成城	クラブサクセス委員会
GMT	L日下　勲	東京成城	エクステンション委員会
GMT	L日下　勲	東京成城	家族会員・ライオンズカード推進委員会
GLT	L瀬尾　正弘	東京板橋西	会則・会員・組織連携委員会
GLT	L瀬尾　正弘	東京板橋西	指導力育成委員会
GLT	L瀬尾　正弘	東京板橋西	青年アカデミー委員会
1RRC	L高橋　芳子	東京みやこ	献血・骨髄移植委員会
2RRC	L和田　昇三	東京堀留	第59回年次大会委員会
3RRC	L橘　薫	東京麹町	LCIF委員会
4RRC	L上野　滋朗	東京法政	オリンピック・パラリンピック招致支援委員会
5RRC	L石田　健	東京江戸川東	青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会
6RRC	L北條　章宏	東京上野	献眼・献腎・臓器移植委員会
7RRC	L内田　照男	東京志村	緊急アラ―ト委員会
8RRC	L奥山　慎	東京駒込	国際協調委員会
9RRC	L西村　茂行	東京目黒	国際大会参加委員会
10RRC	L中江　勁	東京代々木	薬物乱用防止委員会
11RRC	L山岡　祥宏	東京新都心	社会福祉・障がい者支援委員会
12RRC	L中山　道則	東京町田クレイン	YE委員会
13RRC	L大塚　鉞一	東京小平	環境保全委員会
14RRC	L吉岡　忠	東京瑞穂	法人化検討推進委員会
事務局長	L梶原　正和	東京小金井	広報委員会
事務局長	L梶原　正和	東京小金井	IT合理化・事務局緊急対応委員会

2012～2013年度　キャビネット幹事団名簿

役職名	L氏名	フリガナ	クラブ名	担当R
ガバナー	阿久津 隆文	アクツタカフミ	東京赤坂	－
キャビネット幹事	藤井 清一	フジイ セイイチ	東京桜門	－
キャビネット会計	細川 孝雄	ホソカワ タカオ	東京赤坂	－
キャビネット事務局長	梶原 正和	カジワラ マサカズ	東京小金井	－
キャビネット副幹事	高尾 省吾	タカオ ショウゴ	東京葵	2
キャビネット副幹事	阿部 かな子	アベ カナコ	東京ワンハンドレッド	1
キャビネット副幹事	浅井 洋一郎	アサイ ヨウイチロウ	東京新橋	3 ・ 4
キャビネット副幹事	上野 繁幸	ウエノ シゲユキ	東京江戸川	5 ・ 6
キャビネット副幹事	井田 祐樹	イダ ユウキ	東京荒川	7
キャビネット副幹事	荻野 桂一	オギノ ケイイチ	東京神楽坂	8
キャビネット副幹事	山本 康弘	ヤマモト ヤスヒロ	東京世田谷	10
キャビネット副幹事	宇田川 直子	ウダガワ ナオコ	東京中野	11
キャビネット副幹事	鈴木 順一	スズキ ジュンイチ	東京八王子陵東	14
キャビネット副会計	中村 安次	ナカムラ ヤスジ	東京巣鴨	9
キャビネット副会計	吉田 宗一郎	ヨシダ ソウイチロウ	東京武蔵野	12 ・ 13

ライオンズクラブ国際協会
３３０－Ａ地区愛の泉緊急災害援助資金規則

第１条（名　称）
本資金の名称はライオンズクラブ国際協会３３０－Ａ地区･愛の泉緊急災害援助資金（以下資金という）と称す。

第２条（役　員）
①地区ガバナーが必要に応じて指名し委員会を構成する。
②会計監査は、当該年度の会計監査委員がこの任に当る。
③委員長は地区ガバナーが当る。

第３条（資金の運用）
①地区ガバナーが緊急災害度合を判断し運用する事のほか、この資金の運用が３３０－Ａ地区に特に必要と認めた場合は地区キャビネット会議に諮り、愛の泉資金を使用することが出来る。
②本資金の支出対象については、本資金「愛の泉」の設置の趣旨から、災害発生が日本国内か否か、３３０－Ａ地区・３３０複合地区内か否かなどの災害発生の地域や災害の種類、直接災害か間接災害か、などの災害の種類や発生源などの限定は、これをなさないものとする。
③特に緊急性を要する緊急災害アクティビティについては、地区ガバナーは金２００万円までガバナー決裁で支出することができる。金２００万円を超える場合は、地区キャビネット会議の決裁を必要とする。
④地区内において、緊急災害援助募金を実施した場合は、その募金から本資金より支出された金額相当額を組み入れることとする。

第４条（資金の調達）
①資金から生ずる利息は資金に繰り入れる。
②資金は地区キャビネット、ライオンズクラブ、メンバーおよびメンバーの関連企業、団体、個人等により受け入れる。
③資金が著しく少額になった場合は、３３０－Ａ地区年次大会の決議を経て会員に資金の拠出方を要請することが出来る。

第５条（会計および報告）
①資金の会計年度は７月１日より翌年の６月３０日とする。
②資金の収支は会計監査を経て、当該年度の３３０－Ａ地区年次大会で報告し承認を得なければならない。

第６条（定めなき事項）

①規則の運営に関しての必要な事項は、地区ガバナーおよび委員会の責任において行なうことが出来るものとする。

②規則の変更および新たなる規則の制定は、地区ガバナーより選出された役員で構成する委員会で審議のうえキャビネット会議で承認を経た後、年次大会で報告されなければならない。

〔付則〕この規則は１９９７年７月１日より効力を発する。

１９９９年７月２３日第３条を改正

２００５年１月７日第３条を改正

２００８年４月１９日第３条を改正

２０１１年６月１３日第３条を改正

ライオンズクラブ国際協会３３０－A 地区「eMMR－サバンナ管理規定」

2010 年 11 月 8 日制定施行

第１条（管理責任者）

３３０－Ａ地区「eMMR－サバンナ」の管理は、地区ガバナーがその任に当たり、全ての運用権限を持ち、システムの安全運用を図る。

第２条（運用権限）

１．原則として地区ガバナーから任命を受けたキャビネット幹事がパスワードの設定・発行を行い、その代行をキャビネット事務局及び IT 委員長が担う。

２．各人の取扱い権限は、以下の通りとする。
キャビネット書き込み権限；ガバナー、キャビネット幹事、事務局、IT 委員長
クラブ書き込み権限；会長・幹事・事務局
出欠書き込み権限；キャビネット構成員・キャビネット役員・クラブ事務局

第３条（個人情報）

１．登録された会員情報は原則としてキャビネット事務局以外での使用を制限し、会員名簿作成等でのデータ使用の際には、その都度各クラブの承認を受けるものとする。

２．各クラブ及び会員個人からのデータ利用の依頼については、これを認めない。

３．会員の個人データは、キャビネットの運営及びガバナーが認める委員会活動以外に用いず、運用に際しては個人情報の保護に努めなければならない。

４．その他、開示する必要が生じた時点で、クラブを通してメンバーに確認する。

第４条（運用）

１．運用に際しては、効率的なキャビネット運営という目的に照らして、有効に機能するよう、各年度によるキャビネットで弾力的な運用を図ることができる。
取り合えず原則は、以下の通りとする。

キャビネット閲覧権限（出欠以外）；副地区ガバナー・キャビネット会計・RC・ZC
クラブ閲覧権限（出欠以外）；クラブ会計

２．代議員登録をこのシステムで行う時期は、公正な限られた人員で運用し、パスワードもこの期間に限り変更することを考慮すべきである。

３．選挙に際し、各陣営に事前に代議員情報の漏洩無きよう充分注意をすること。

第５条（引継ぎ）

ガバナーエレクトは、ガバナー就任と同時に、全ての運用権限を引き継ぎ、管理責任者となる。

以上

１.「３３０－Ａ地区キャビネット役員」のメーク・アップに関する件

地区キャビネット役員各位には、所属クラブの例会出席を原則としていただきますが、貴クラブの例会日にキャビネット関係行事出席のために、やむなく欠席した場合、もしくは当日他の理由で欠席したが、前後１３日間にキャビネット関係行事に出席した場合はメーク・アップ規則に該当し、例会出席したものとみなしていただく。

２.各クラブ公式行事にキャビネット役員が出席する際の諸費用に関する統一見解の件

御　祝　金

行事内容	地区ガバナー 第１副地区ガバナー 第２副地区ガバナー	キャビネット 幹事・会計 Ｒ担当副幹事(副会計)	キャビネット 役員・委員
公　式　訪　問	な　し	な　し	
結　成　会	な　し	な　し	登録料相当とする
チャーター・ナイト	登録料相当とする （上限：15,000 円）	登録料相当とする （上限：15,000 円）	登録料相当とする
周年行事、 その他クラブ独自の行事について	登録料相当とする （上限：15,000 円）	登録料相当とする （上限：15,000 円）	登録料相当とする

※　新クラブの結成会へは慣例としてお祝金５万円を贈呈

2012～2013年度 330-A地区 一般会計概算予算案

2012年7月23日現在

科目		内訳	予算
前年度繰越金			
収入の部			59,740,000
1	地区費	正会員 480円×4600名×12ヶ月	26,496,000
		家族会員 240円×400名×12ヶ月	1,152,000
		クラブ割 2,000円×203C×12ヶ月	4,872,000
2	地区特別運営費	正会員 200円×4600名×12ヶ月 年次大会	11,040,000
		家族会員 100円×400名×12ヶ月	480,000
3	国際本部交付金		500,000
4	会議等登録料	第1、4、臨時3,000円×400名×3	3,600,000
		第2、3回3,000円×90名×2	540,000
		第1懇親会10,000円×350名×1 臨時、第4懇親会10,000円×350名×2	10,500,000
		会長会3,000円×180/200C	540,000
5	受取利息		10,000
6	雑収入		10,000
支出の部			59,740,000
A. ガバナー運営費			7,200,000
1	ガバナー費	周年行事15,000円×3名×20C＋予備	2,000,000
2	贈呈費	バナー1,150円×800枚・胸章1,300円×450個 バッチ220円×1,500個 予備	4,500,000
3	弔意表敬費		100,000
4	複合等関係費		100,000
5	国際協会関係費		300,000
6	ＯＳＥＡＬＦｏｒｕｍ費		200,000
B. 会議等運営費			22,300,000
7	キャビネット会議費	CAB会議他含	14,800,000
8	委員会活動費		2,000,000
9	ＰＲ情報活動費		3,500,000
10	ＩＴホームページ関係費		2,000,000
11	会計処理調査費		0
C. 事務局管理費			29,900,000
12	事務局員給与		15,500,000
13	法定福利費		2,200,000
14	福利厚生費		100,000
15	交通費		550,000
16	通信費		700,000
17	印刷費	コピーカウンティング料金含	2,500,000
18	事務消耗品費		350,000
19	備品購入費	会計ソフト保守料他	200,000
20	運賃・発送費		800,000
21	ＯＡ機器費	複写機3台リース料金	1,200,000
22	家賃		4,800,000
23	営繕・清掃費		200,000
24	水道光熱費		600,000
25	雑費		200,000
D. 予備費			340,000
26	予備費		340,000
当期収支差額			0
差引収支差額			-

2011～2012 年度　330-A 地区 第 58 回年次大会決議報告

2012 年 4 月 21 日（土）東京プリンスホテル

◇ 代議員総会議案　決議報告

1. 2012～2014 年度　国際理事候補者推薦の報告について
議長より、336-A 地区徳島城山ライオンズクラブ所属の武久一郎ライオンが、昨年フィリピン(マニラ)にて開催された第 50 回オセアル・フォーラムにおいて、2012～2014 年度国際理事候補者として推薦されたことが報告された。

2. 2012～2013 年度 330-A 地区ガバナー選出の件
*2011～2012 年度第 58 回年次大会議事規則 10 項(1)の（エ）により別の方法
拍手による選出を議長より提案され、拍手多数で承認される。
*知野指名選挙委員長より L 阿久津隆文次期地区ガバナー指名、議長より承認要請
拍手多数で承認
ガバナーエレクト　L 阿久津　隆文　　賛成多数承認

3. 2012～2013 年度 330-A 地区第 1 副地区ガバナー選出の件
*2011～2012 年度第 58 回年次大会議事規則 10 項(2)の（エ）により別の方法
拍手による選出を議長より提案され、拍手多数で承認される。
*知野指名選挙委員長より L 鈴木定光次期第 1 副地区ガバナー指名、議長より承認要請 拍手多数で承認
次期第 1 副地区ガバナー　L 鈴木　定光　　賛成多数承認

3. 2012～2013 年度 330-A 地区第 2 副地区ガバナー選出の件
*2011～2012 年度第 58 回年次大会議事規則 10 項(3)の規定に従って次期第 2 副地区ガバナーの選出は選挙によって執り行われた。
登録代議員数［474］名，投票総数［473］票
有効票［469］票，白紙票［3］票，無効票［1］票，棄権票［1］票
東京ﾜﾝﾊﾝﾄﾞﾚｯﾄ LC 所属　長井隆充 L［107］票
東京蔵前 LC 所属　山田達 L［47］票
東京文京 LC 所属　吉田實 L［90］票
東京田無 LC 所属　塩月藤太郎 L［134］票
東京大江戸 LC 所属　熊野活行 L［91］票

有効得票の過半数の得票に達しなかった為、大会議事規則第 10 項(3)の(オ)の規定に従い、得票数の多かった上位 2 名により再投票が行われた。
登録代議員数［474］名，投票総数［467］票
有効票［448］票，白紙票［16］票，無効票［3］票
東京ﾜﾝﾊﾝﾄﾞﾚｯﾄ LC 所属　長井隆充 L［172］票
東京田無 LC 所属　塩月藤太郎 L［276］票

*知野指名選挙委員長より選挙投票の結果、次期第 2 地区ガバナーに東京田無ライオンズクラブ所属の L 塩月藤太郎が選出されたことが報告された。

◇ 次期 330-A 地区年次大会開催地及びホストクラブ発表

*開催地は東京　　ホストは第３リジョン内クラブ

◇ 分科会議案及びシンポジウム報告

☆再開代議員総会で各分科会審議について報告がなされ、異議申し立てなく拍手をもって終了した。

政策・会則分科会　　代議員 87 名　　ホスト１名

1. 「330 複合地区会則改定」の件
   〔決　議〕賛成多数により承認された。

2. シンポジウム・テーマ１
   「ガバナーズ･アワード提言論文から透けて見える地区及びクラブ活性化の処方箋」
   最悪のシナリオ(合併・解散・ステータスクオ等)から、クラブのビジョンを考えることが急務。
   ①周年行事の見直し、キャビネット指導による合同周年行事の誘導
   ②地域(Z・R)を超えたアクティビティの合同実施

   シンポジウム・テーマ２
   「クラブの活性について」
   ①原点回帰の実践
   寄付行為からの脱却。アクティビティの模索と実践に期限(3 年・5 年)を設けての取り組み･･結果、マンネリを打破し、新しい会員にやるとき感動が生まれる。(新人の退会防止)
   ②地域の方々の巻き込み不足。

   テーマ１・２　総論
   ラインズクラブは議論が少ないと言われています。この度の論文投稿は、この現実が反映され、ライオンズの現状打破に情熱ある論客が点在するクラブに多数いることが分かりました。

経理分科会　　代議員 27 名　　ホスト２名

1. 2011～2012 年度 330-A 地区上半期会計報告承認の件（議案集Ｐ39～Ｐ56 掲載）
   全会一致で承認された。
2. 2010～2011 年度 330-A 地区会計報告承認の件（議案集Ｐ57～Ｐ78 掲載）
   全会一致で承認された。
   Ｐ71　今後、330-A 地区支援会は会計帳簿をキャビネットに提出し公開する。
   Ｐ80　キャビネットより 332-B,C,D 地区への義援金の内訳を提出する。
   愛の泉基金の内訳開示の要求があった。
3. 2012～2013 年度 330-A 地区クラブ費 1 クラブ 1 ヶ月 2,000 円拠出の件
   全会一致で承認された。
4. 2012～2013 年度 330-A 地区費 1 メンバー1 ヶ月 480 円
   家族会員 1 メンバー1 ヶ月 240 円拠出の件　　全会一致で承認された。

5. 2012～2013 年度 330-A 地区特別運営費 1 メンバー1 ヶ月 200 円
家族会員 1 メンバー1 ヶ月 100 円拠出の件　　全会一致で承認された。
6. 2012～2013 年度 330-A 地区大会費 1 メンバー1 ヶ月 100 円拠出の件
全会一致で承認された。
7. 2012～2013 年度 330-A 地区特別大会費 1 メンバー1 ヶ月 50 円拠出の件
全会一致で承認された。

会員増強/会員維持/ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝ分科会　代議員 78 名　ホスト 5 名

1. シンポジウム･テーマ１
「若い人をメンバーにしていくための方策について」
*仕事との兼合いで時間制約が多いことから、ＰＴＡ関係者等、地位があり時間の余裕がある若者を誘致していくことが必要との意見が出された。

シンポジウム･テーマ２
「会員を維持するための方策について」
*各クラブの会員減少を阻止し、アクティビティの活性化に邁進することが必要との意見があった。その他、会費が高い、賛助会員の利用、会員増強人数の目標を持つなどの意見が出された。

指導力・若手育成/家族会員・女性参加推進分科会　代議員 51 名ホスト 0 名

1. シンポジウム･テーマ１
「ゾーン・チェアパーソンセミナーを期首に開催する件について」
～ ＺＣの役割の重要性と協力体制構築を図る必要性から ～
*本来、次期三役セミナーと同時に行うか、遅くとも期首に行う事が適切と思われるとの意見が出された（次期三役セミナーと同時に行う意見が多数であった）

シンポジウム･テーマ２
「各委員会セミナーの開催について（年間スケジュール・共同開催等）」
*各会員及びキャビネット事務局の負担軽減になる為、前向きに取り組んで頂ける事を期待する旨の意見が出された。

ＩＴ/ＰＲ・情報分科会　代議員 31 名　ホスト 2 名

1. 「2012～2013 年度 330-A 地区アクティビティ･スローガン決定」の件
「みんなで築こう 奉仕の絆」　　全会一致で承認された。

2. シンポジウム･テーマ１
「３３０－Ａ地区のＩＴ利用の一層の促進と対応について」
*今後も社会の状況を鑑み、一層のＩＴ利用促進を行っていこうとの意見で纏った。その他、ＩＴの利用を各クラブ及びキャビネットにて大いに促進していきたい、各クラブの役員には、可能な限りＩＴ環境を整えていただきたい、等の意見が出された。

シンポジウム･テーマ２
「東日本大震災支援活動の広報とＩＴによる拡散について」
*各クラブの活動を出来るだけ多く広報していただきたい、支援活動の実状を可能な

限り拡散していきたいとの意見が出された。

シンポジウム･テーマ３
「地区ニュース誌の対外ＰＲについて」
*地区ニュース誌、ライオン誌を大いに利用し、対外的にＰＲ効果があるよう編集していくことが望ましいとの意見が出された。

法人化検討/組織連携・ﾗｲｵﾝｽﾞｶｰﾄﾞ分科会　代議員 28 名　ホスト 20 名

1. シンポジウム･テーマ１
「ライオンズクラブの法人化について」
◇検討課題（①法人格取得のメリット②考え得る法人の種類③法人化すべき対象/単一クラブか/準地区か/複合地区か④クリアーすべき諸問題）
*上記の検討課題を代議員に理解してもらい、ライオンズの法人化に向かって今後も努力していくことで一致した。

アクティビティⅠ分科会　代議員 34 名　ホスト 2 名

1. シンポジウム･テーマ１
「ＬＣＩＦ交付金を活用した有意義なアクティビティでクラブ活性化を目指すことについて」
*ＬＣＩＦ交付金の一覧表が配布され、具体的な申請方法について説明がなされた。
ＬＣＩＦ一般援助交付金と国際援助交付金の違いと活用方法の説明がなされ、各クラブの周年事業に大いに利用すべきであるという意見やわかり易い申請書の雛形を委員会等で普及させることが必要ではないかと活発な意見交換がなされた。

シンポジウム･テーマ２
「国際理事の支援のあり方について」
*山浦国際理事より国際会議の現状について説明がなされた。また、分科会顧問より釜山国際大会での代議員派遣と権利の行使について説明がなされた。
また、ハンブルグ国際大会では、国際第２副会長候補者が立候補します。日本からは、１クラブより１名、約３３００人の代議員派遣が可能ですので、多くの代議員を派遣して国際大会での発言力を高めましょう、との意見があった。

アクティビティⅡ分科会　代議員 33 名　ホスト 3 名

1. シンポジウム･テーマ１
「これからのライオンズクラブの環境保全活動のあり方について」
*環境保全に積極的に取り組み、植樹活動をさらに推進する。
「環境リーダー養成講座」等を通して環境保全の対する意識を高め、
「海の森プロジェクト」等の植樹活動に積極的に参加しよう。

シンポジウム･テーマ２
「起こるかもしれない都市型大災害に備えて」
*防災意識を向上し、上級救命講習会に積極的に参加して資格取得を推進する。
また 地震シミュレーション等を実際に体験したり、防災シンポジウムへの参加・防災隣組構築に積極的に関わり、地区内の減災に努める。

アクティビティⅢ分科会　　代議員 56 名　　ホスト 3 名

1. シンポジウム･テーマ１
「『ダメ。ゼッタイ。』薬物乱用防止大会『ライオンズ奉仕デー』実施の件」
*薬物乱用防止憲章が制定されて以来、大石ガバナーにより薬物乱用防止大会が初めて企画されました。今大会は、後援いただいた省庁からも高い評価を得ると共に、ＮＨＫのテレビとラジオのニュースでも大会の趣旨と内容が大きく取り上げられ、ライオンズクラブの存在意義とその活動理念を広く一般社会に発信することができました。当地区から発信された「薬物乱用防止教育認定講師養成システム」は今や８複合地区において広く開催されています。今後もこの活動の輪を広げていきましょう。

シンポジウム･テーマ２
「これからの青少年健全育成のあり方について」
*日本の将来を担う子供達が社会人になり多難な問題に直面した時、自信を持ち、生きる力を習得し、しっかりとした人生を歩むのにはどのように取り組むべきか、意見交換を行なった。委員会活動としては、ライオンズクエストプログラムの導入等が考えられるが、単年度の活動では成果は期待できない為、継続人事が検討課題と思われる。
*ＹＥ派遣生について、ライオンズ関係の子弟では、何時でも海外に行けるという意識に対して、あしなが育英会から推薦された子ども達は、海外に行ける最後の機会であると考えており、意識の違いが大きいとの意見が出された。
*英語スピーチコンテストの都知事表彰は非常に権威があるものであり、それに相応しい副賞を設け、ホームページを通じて公募したことにより、一般からの応募も多くあった。今回その一般からの応募者が都知事表彰を受賞した旨の報告があった。

アクティビティⅣ分科会　　代議員 49 名　　ホスト 0 名

1. シンポジウム･テーマ１
「献血と骨髄ドナー登録の現状と課題について」
*日本赤十字社より４月からの組織変更について説明がなされ、今後の献血活動について一層の協力要請があった。
また、血液製剤の安全性の向上と安定供給を将来にわたって確保すること、骨髄バンクの現状と課題について話し合いが行われた。

シンポジウム･テーマ２
「『障害者の目線で接する優しさと勇気を持とう』というテーマについて」
*地区社会・障害者福祉委員会の聴覚障害者セミナー報告を聞き、障害者の方々を理解し、接する勇気が持てた旨の意見が出された。

2011～2012年度
330複合地区第58回年次大会代議員会各分科会報告書

開催日時 ： 2012年5月13日(日)10:30～14:15
開催会場 ： 浦和ロイヤルパインズホテル 4F「ロイヤルクラウン」
大会議長 ： ガバナー協議会議長 小峰理孝
代議員数 ： 907名

1. 代議員会各分科会議案に対する決議結果、シンポジウムについての報告は下記の通り。
2. 各分科会の全ての決議、報告は、代議員総会において可決承認され、大会式典にて報告された。

分科会決議・報告(各分科会報告書記載内容による。)

(A) 経理分科会

議案1.下記の会計報告を承認願いたい。

(ガバナー協議会議長提案)

(A)330複合地区関係
①2010～2011年度330複合地区会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

②2011～2012年度330複合地区上半期会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

(B)ライオン誌日本語版事務所関係
①2010～2011年度ライオン誌日本語版事務所会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

②2011～2012年度ライオン誌日本語版事務所上半期会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

(C)日本ライオンズ連絡事務所関係
①2010～2011年度日本ライオンズ連絡事務所一般会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

②2011～2012年度日本ライオンズ連絡事務所上半期会計報告
[決議] 原案通り可決承認。

（B）政策・中長期計画、会則・会員、会員増強・会員維持、エクステンション、レオ・ライオネス・女性参加推進分科会

議案1.複合地区会則改正に関する件

（ガバナー協議会議長提案）

［決議］ 原案通り可決承認。

足説明］ 議案集62頁、複合地区会則第1章第5条は新たに複合地区協議会議長の解任条項を加えたもの。

○第6条は、複合地区議長連絡会の性格を明確にし、且つ国際会則及び付則、国際理事会方針、規定に違反する行為者の連絡会出席停止の規定を新たに盛り込んだもの。

○第7条は、複合地区年次大会成立に要する定足数を定め規定に加えたもの。

○第9条は、国際会則付則改正に伴う字句の訂正である。

○第10条は、複合地区第57回年次大会に於いて承認済みであり確認事項である。

○第20条は、準地区年次大会成立に要する定足数を定め、規定に加えたもの。

○第15条は、2011年シアトル国際大会で、グローバル会員増強チーム(GMT)、グローバル指導力増強チーム(GLT)など、改正された地区役員の職務を明確化した。

〈シンポジウム〉

1 330複合地区発展のための長期に亘る目標と今後の活動のあり方、計画について。

（ガバナー協議会議長提案）

［説明］

準地区の委員会構成に複合地区委員会と同じ名称の委員会を組織し、委員長又は副委員長を複合地区委員会の委員に推薦し連携すべきである。

［報告］ 全員一致で承認。

［補足説明］ 適合性を考えて行く点からも、円滑性を考えていくべきである。

〈シンポジウム〉

2 長期的会員増強のあり方、活性化について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 発想の転換を念頭に、まずはクラブの活性化が必要であり、メンバー全員が総意で取り組む必要があると同時に退会者対策が必要である。

［補足説明］ 最悪のシナリオからの発想

○少人数クラブの解散を鑑み、合併を考える。

○ステータスクオの活用など

活性化への処方箋として

○周年行事の廃止、当該年度キャビネット指導の合同周年行事へ

○原点回帰の実践　期間限定のアクティビティの実践、合同アクティビティの模索、融合から生まれる発想、地域社会の巻き込み不足

会員増強チームを編成して取り組む

○グループに分けての行動
1.体力・知力グループ　2.ベテラン会員グループなど得意分野に分けてグループ編成
3年未満の退会者が26.3%であり、退会者対策も必要である。

〈シンポジウム〉
3　女性会員の増強の方法について。
（ガバナー協議会議長提案）

［報告］　女性会員自身が目指すものは何かを明確にして、ライオンズとしての自覚を持つことが女性会員増強に　繋がるものと考える。
家族会員制度の導入で女性会員の入会が増えているが、クラブの特性を生かした中での増強も必要、女性会員の入会後の立場も考慮しながら増強を進めて行く。
エクステンションの重要性の説明と、確認。
A, B地区では7クラブが新設され、200余名の純増。
C地区では、1レオクラブが結成された。

A地区	東京キング'LC	スポンサー	東京LC
	東京平成LC		東京数寄屋橋LC
	東京レスキューLC		東京上野LC
	東京ゴルフLC		東京赤坂LC
B地区	横浜中央市場LC		横浜金港LC
	横浜桜美林LC		横浜都築LC
	新横浜LC		横浜金港LC
C地区	大宮グリーンレオクラブ		大宮グリーンLC

（C）指導力・若手育成、青少年育成・ライオンズクエスト，ＹＥ分科会

〈シンポジウム〉
1　若手会員育成のあり方について。
（ガバナー協議会議長提案）

［報告］　数々の資料の説明があり、若手会員の育成および青少年育成に関して活発な意見が論議され有意義なシンポジウムとなった。

〈シンポジウム〉
2　50年を経たYE事業のこれからについて。
（ガバナー協議会議長提案）

［報告］　YE活動について詳細な説明があり、熱心な質疑応答が行われた後、まだ、地道な活動を続けるべきとの確認が行われた。

〈シンポジウム〉
3　ライオンズクエストと薬物乱用防止教室のあり方について。
（ガバナー協議会議長提案）

［報告］　ライオンズクエスト活動と薬物乱用防止活動は共に大切である。
薬物乱用防止の入口にあたるクエスト「思春期のライフスタイル」の説明を薬物

乱用防止教室の中に少しの時間でも組み入れる事が望ましい・・・・などの意見・提案がなされ、有意義なシンポジウムとなった。

（D）ＩＴ・ＰＲ情報分科会

〈シンポジウム〉

1 ライオンズクラブの運営におけるITの具体的活用について。

（ガバナー協議会議長提案）

各委員会等会議開催時に、経費及び時間の節約のためテレビ電話の活用を促進したい。

［報告］ 時間中にWeb会議のデモンストレーションを行い、未来に於けるパソコン・インターネットを利用、ネットWeb会議を身近なものとして、その一環を体験して頂いた。
国際協会会則は協会のホームページにアップされているが、解りづらいので330複合地区ホームページに転記し、毎年、改正部分をIT・PR情報委員会で、メンテナンスすることに決定した。

（E）ＬＣＩＦ、国際関係・モンゴル支援、緊急援助、国際理事支援、国際大会、（特別）グローバルアシスト分科会

〈シンポジウム〉

1 LCIFの積極的な活用促進、将来の展望について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 山浦国際理事の帰朝報告があり、100周年には、アメリカでL字マークのドルが発行されるとの話に会場内は活気付き、積極的な意見が飛び交い大変有意義なシンポジウムとなった。

〈シンポジウム〉

2 国際大会参加とOSEAL FORUM参加の意義について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 今井国際大会委員長より、クラブからの代議員派遣の意味の説明があり、小峰議長から国際大会の重要性、国際第二副会長選出の意義について意見が述べられた後、活発な意見交換がなされ有意義なシンポジウムとなった。

〈シンポジウム〉

3 緊急災害時におけるITネットワークの有効活用について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 東日本大震災時の状況説明があり、ITネット活用について貴重且つ有効な意見交換がなされ、有意義なシンポジウムとなった。

（F）薬物乱用防止、献眼・献腎・骨髄移植、社会福祉・献血、環境保全分科会

〈シンポジウム〉

1.薬物乱用防止憲章を複合地区全役員の名刺に記載していただきたい。

（ガバナー協議会議長提案）

［説明］

複合地区内の認識を持続し、さらに普及する為には名刺に記載する事が必要である。

［報告］ 330-A・B・C地区において決定されている薬物乱用防止憲章をより啓発し、青少年健全育成を目的とするすべてのライオンズクラブメンバーの名刺に記載することが必要であることが申し合わされた。

〈シンポジウム〉

2 献眼・献腎・献血・骨髄移植運動の推進に関し、複合地区として準地区、単一クラブとの協力方法並びに他団体との連携について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 各委員長から推進活動の実態と運動の意義などについて説明があり、認識を新たにして討議に入り、大変有意義なシンポジウムとなった。

〈シンポジウム〉

3 環境保全事業活動の推進について。

（ガバナー協議会議長提案）

［報告］ 今期、国際会長の方針である100万本植樹キャンペーンの各準地区における遂行状況を確認の上、期間内の目標達成を確認した。